

山形八小の「校務の情報化」

テキストスタイルの編集
みちのく情報教育フォーラム第二回研究会
グループL

山形八小の現状

- 教職員は28人
- ほとんどの先生がPCを学校に持ち込んでいる
- 印刷環境共有のために職員室LANを構築
- フリーのGWを導入して「朝の打ち合わせ」を無くして時間効率化を図ろうとしたが上手くいかなかった。
- 小学校はとにかく自由に使える時間が少ない！
- 個人のITスキルのばらつきがある。
- 公的配布されたPCが無い

問題・課題

1. 授業時間以外の時間について、「効率良く」有効活用できるようにしたい。(業務効率)
3. 校務へのIT活用への共感が広がらない。(人的な理解)
5. 情報共有が進まない。(情報共有)

山形八小の「校務の情報化」に取り組む

	すぐできる	年間を通したらできる	将来できる
無くてもできる	職員打ち合わせを短時間で終わるよう改善する		
ツール	メールやGWで情報伝達するために個人PCを必ず持つ		
同意形成(校内)	口頭伝達しなければならぬ情報以外はITを使い伝達する業務ルールにする	会議を大幅削減し、メールや校内掲示板で情報共有ができる	校務に関わる情報が共有管理され、相互に活用し合える

「全職員」が「今すぐ」に「職員打ち合わせ」での情報共有方法を変える」

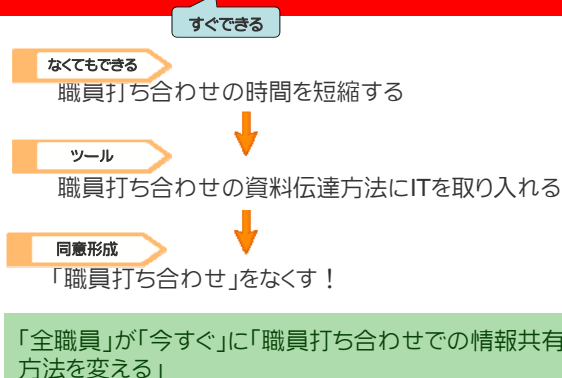
<「職員打ち合わせ」の問題点>

- 資料で示せばわかることを重ねて説明する
- 資料をよく読めばわかることを質問する
- 発議者それぞれの話が長い
- 発議を聞いてから質問を考える
- 違う会議ですでに話し合っていることを何度も発議する



「職員打ち合わせ」には「ムダ」が多い！

山形八小で「校務の情報化」に取り組む



ツールがなくても、すぐに取り組めること

「話して伝達」と「あらかじめ資料提示で伝達」を使い分ける

- 「打ち合わせの進め方」を見直して時間短縮を実現。
- 議案はあらかじめ資料にまとめ配布しておく。
- 打ち合わせ開始前に資料を読んでおき、質問も用意しておく
- 口頭伝達しなければならない内容以外は、質疑応答だけ
- 資料を読んでわかることについて質問していけない

ツールを導入し、すぐにできる取り組み

職員打ち合わせの資料伝達方法にITを取り入れる

現在の情報伝達手段を変えることへの抵抗をどうやって無くしたらいいの？

- × 新しいやり方を大変な思いをして覚えるのはイヤ!
- × ITを使ってまとめる手間が増えるんじゃないの??
- × そもそもパソコンが苦手...



ツールを導入して、すぐに取り組めること

職員打ち合わせの資料伝達方法にITを取り入れる

こんな工夫でIT導入への抵抗感を取り除いてみる **野口作戦!**

1. まずIT導入に共感してくれる同僚を集めてみよう!
2. そんな味方を山形八小の教職員の50%オーバーを目指す
3. ITで便利になる「具体的なメリット」をわかりやすく示してみよう

ツールの導入と校内の同意形成ができれば、取り組めること

「職員打ち合わせ」をなくす!

メールや職員用電子掲示板を使って、ITでの情報伝達を行う

職員打ち合わせが無くなると、自由に使える時間が増える

校務の情報化の良さがわかり、ほかの場面での取り組みが進む

「すぐにできること」でのゴール

「職員打ち合わせ」をなくせたら...

- ほかの場面でも教職員同士の情報伝達が効率良くできるようになっている。
- 「校務の効率化」という目標を教職員全員で理解できている。
- もっと積極的に「情報の共有化」に取り組もうという機運を高められている

